



環境モデル都市・帯広で インドネシア「環境保全」研修実施!

昨年7月、環境モデル都市に認定された帯広市。その帯広市で美しい自然を維持するために市民・企業や行政がどのような活動をしているのかを学ぶため、インドネシアの青年18名が来帯しました。昨年11月に行われたこの研修では、農業高校の自然エネルギーを使った雪室や廃棄物処理業者、浄水場の見学や、大雪山国立公園での実習や講義を通してたくさんのお話を学びました。また一般家庭にも訪問して、家庭でのゴミ分別や生ゴミの堆肥化について学習。青年たちに大変好評でした。

(JICA帯広 紺矢)

JICA帯広(帯広市西20条南6丁目1-2) Tel.0155-35-1210 FAX.0155-35-1250



「インドネシアのために役立てたい」
「帯広は美しい街」と、皆笑顔で帰国しました!



異文化理解料理教室 ～食べ物から学ぼう、世界のこと～

12月15日&1月26日、2回にわたり異文化理解料理教室を開催しました。人数は15～20名程度と少人数ですが、その代わりにアットホーム。今回の講師はミャンマー人。講師が生まれ育った国の料理や文化、環境等、実習を通して教えて頂きました。質問攻めで、講師はお疲れ気味ですが、ほっと心温まる教室でした。

ソースは意味があってその土地で生まれます。食べ方もそうです。では、食べられない国はどうしてあるの?一緒に考えてみませんか。

(国際協力推進員(函館)津田)

JICA函館デスク((財)北海道国際交流センター内) Tel.0138-22-0770 FAX.0138-22-0660



誰がどの国? わかるかな?
ミャンマー、タイ、フィリピンの方がいますよ



「どうです?上手にできたでしょ~!!」 ～旭川冬まつり市民小雪像づくりの現場から～

旭川冬まつりに向けて、2月1日、常盤公園内にて市民小雪像づくりが行われました。参加者はAICボランティアを含む旭川市民、北海道在住外国人(留学生を含む)など60名ほど。「今年は東京ディズニーランド25周年、これは明るい話題!」ということでディズニーキャラクターを5基、5つのグループに分かれて作業を行いました。日中の最高気温は-5℃。約1時間半かけて愛着たっぷり的小雪像が完成しました!それを見つめながら、あつたか~い豚汁とおにぎりを食べ幸せを感じていた参加者でした。

(国際協力推進員(旭川)石井)

JICA旭川デスク(旭川市役所第3庁舎国際交流課内) Tel. & FAX.0166-27-1590(直)



最初はどこからみてもアンパンマンだったのに…。
おみごと!完成度の高いミッキーに大変身しました!



大地の響き～モンゴル音楽コンサート～

2月1日、北見市内で音楽を通じた交流イベントが開かれました。モンゴル弦楽器馬頭琴とカザフ弦楽器ドムラのコンサートを聞きに集まった市民は250名以上!来場した妊婦さんから「お腹の子どもがとても喜んでお腹を蹴っていた!」との声や、また北見工業大学モンゴル留学生6名の日本語による故郷紹介には「とても素晴らしいイベント」「素晴らしい努力」との声が寄せられました。飛び入りでウイグルからの留学生のダンスもあり、外気温はマイナスでも会場は熱気に包まれました。

(国際協力推進員(北見)高橋)

JICA北見デスク(北見市役所市民活動課国際交流係内) Tel.0157-25-1105 FAX.0157-25-1016



モンゴル馬頭琴奏者ネルグイ氏(左)、
カザフドムラ奏者クグルシン氏(右)